

園田苑

ふ

わ

りん

こ

風話鈴香

第114号

平成27年5月

編集・発行

社会福祉法人

阪神共同福祉会園田苑広報

〒661-0972

尼崎市小中島 1-1-18

TEL:06-6493-3731

Mail:info@sonodaen.or.jp

ホームページ

<http://www.sonodaen.com/>

私たちの目指すもの

一、地域に開かれた施設

二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！

三、老人と共に生きがいを見い出す生活を！

社会福祉法人阪神共同福祉会園田苑



福の鳥「ツバメ」が
小規模とZenの
玄関に巣を作りました。
2015年5月

思ってるだけじゃだめ。行動しなければ

理事長 中村 大蔵

私は2つの地方紙を購読している。『琉球新報』と『三陸新報』である。『三陸新報』は東日本大震災がキッカケであるが、『琉球新報』はそれよりはるか前から購読している。

『琉球新報』購読は入居者の故比嘉光子さんの形見としての意味もある。女子看護学徒隊の生き残りとして、比嘉さんが地元の大学で沖縄戦を語ったことがある。米軍の撮影したフィルムを上映した後、「実際はあんなものではない。もっと酷い」と言ったことが今も耳に残っている。

『琉球新報』には、戦争中に米軍が落とした不発弾の処理による交通規制が毎日のように載り、駐留する米軍が起こす不祥事の記事も止むことがない。

「沖縄に基地があるのではなく、基地の中に沖縄がある」と表現した外国人がいたが、まさしく沖縄は“今も在戦場”なのである。

沖縄戦の犠牲者と共に平和を祈念する「慰霊の日」は間近に迫った。今年も比嘉さんの代理として沖縄に向かう。

辺野古をめぐる緊迫した事態。国会での気になる以上の論戦。比嘉さんの同窓生である中山きくさん(86)がいみじくも言った「戦争のにおいがする。平和に逆行していると思ったら、止めるよう行動しなさい。思ってるだけじゃだめ」をかみしめながら、ボランティアグループ「園」の仲間6人と慰霊祭に参列する。

喫茶Zenはじまる ～地域の溜まり場を目指して～



五月九日(火) デイサービスセンターZenで、『喫茶Zen』を行いました。Zen、小規模の利用者の方は勿論、センター、苑デイ、特養の皆さんたくさんの方に来ていただくことができました。

メニューを決める際、利用者の方々の目線ではなく、私たち職員側の目線で作りやすい物で進めようとしていました。準備を進めていくにつれ、利用者から食べたい物を言われたため、急遽メニューを変更しました。サイフォンコーヒー、紅茶、チーズケーキ、トリュフ、フルーツポンチ、パフェ(チョコ・イチゴ)、かき氷。

ボランティアで来て下さった特養入居者の山木さんの奥さんも、「久しぶりで緊張するわ～」と言いながらもコーヒー係をかって出てくださいました。

職員のいち押しのかき氷は、全く注文もなく、「これから暑くなったらまたやればいい」と負けおしみの職員を横目に「朝から張り切ってたから食べてあげんわけにはいかんな、イチゴ一つ」と高橋さんが言うにつられて皆さんも「じゃワテももらおか」おかげで面目躍如となりました。

初めてということもあり、Zen内が混雑してしまい、動線の確保や料金の支払いや役割分担や今後に繋げていくための課題山積でした。

しかし、一方で、久しぶりに会えた利用者同士がお話をされたり、楽しんでおられる様子を見ることができ、普段のんびりした雰囲気でも過ごしていただけるZenの利用者の方は、「久しぶりに賑やかで楽しい」と言っていたのは、良かったと思います。

今回初めて企画を立て、準備しました。すべてにおいて、たくさんの人の協力があったからこそいい喫茶ができたと思います。職員の皆さん、Zenの利用者の方々のご意見に心より感謝申し上げます。

これから日曜日の朝の『モーニング喫茶Zen』が始まります。今回の経験を生かして地域の皆さんの溜まり場になるように頑張りたいと思います。皆さん是非おこしく下さいね。

Zen ヘルパー 羽瀨 志保美



Zen、小規模つづれ草紙 ～Zen句会～

六名で始めたZen句会。

今まで知らなかった者同士が同じ言葉（季節）

で色々と思いを巡らせて、五・七・五の俳句にすることで、自分とは違う言葉の使い方や感じ方に触れられて、十人十色の面白さがあるな～と実感しました。

少しずつでも人数が増えることで益々楽しい会になればと思います。自然を感じつつ、十七文字に纏めることは、頭の体操にもとっても良いようです。地域の多くの方にも参加していただきたいです。お気軽にお問合せくださいね。（電話：06-6498-5282 担当：山本、西井）

デイサービスセンターZen 厨房 花城 清枝

（秀作） 野やすみと 呼ぶ日も消えて かしわもち



～モーニング喫茶Zenオープン～

次回は6月28日午前8時～11時
開店！是非お越しください。

5月31日（日）、デイサービスセンターZenで初めてのモーニング喫茶を開催しました。数日前からZenの玄関前では、ツバメが巣を作り始めていました。（表紙参照）その甲斐もあってか、当日は50人以上の方にお越し頂きました。

モーニングセットは、トーストかパン、スープ、スクランブルエッグ、フルーツ、ヨーグルト、コーヒーがついて、300円。しかも、コーヒーはサイフォンをご用意。おいしいと大評判でした。また、お越し頂いた方のなかには介護の相談を下される方も…日頃の業務だけでは、巡り会えなかったことです。これからも毎月モーニング喫茶を実施したいと思っています。ボランティアでご協力頂いた山木さん



森さんの力を借りて好調なスタートをきることができました。ご協力頂いた皆様、お越し頂いた皆様、夫婦ツバメさん、有難うございました。

小規模多機能型居宅介護園田苑 管理者 秀石 直美

～荒木さんお誕生日～

誕生日の数日前に、小規模の利用者の清さんから西井店長（荒木さん流）に誕生日に鯛の姿焼きが食べたいとのリクエストがあったようです。施設長に確認すると、即OKが出ました。

誕生日に向けて、小規模のフロアでは飾りつけをしたり、誕生日ケーキを作ったりと、色々な場面で職員が準備に取り組みました。

当日は昼食のいつものメニューに、プラスしてリクエストの鯛の姿焼きが出ました。清さんは終始ご満悦で、清さんの顔の倍ほどの鯛を見つめていました。

昼食には鯛、おやつにはケーキ、夕食には理事長も駆けつけて下さり手作り餃子を囲みながらの、宴会となりました。いつもよりも沢山召し上がられていました。

小規模多機能型居宅介護(荒木さん流にはコキボ)の守衛の主任をかって出てくれた、荒木清さんの91歳の誕生日会は3部構成の宴となりました。これからも、荒木清さんコキボの守衛さんをよろしくお願いします。



コキボ 李 知香

←（左から）
第1部（昼食）
第2部（おやつ）
第3部（夕食）

ピクニックびより

～春ですよバラが咲いていますよ～

特養2階ピクニック
2015.5 農業公園

今年も行ってきました！ユニットになってからの全員集合ピクニック！

第2弾は尼崎農業公園にベルサイユのばらを・・・いや！お弁当食べに・・・いや！キレイなバラを見に行ってきました！ショートご利用の方を含め総勢19名！

今年も大変良いお天気で皆晴れ女晴れ男で最高！施設長お手製のいなり寿司、山崎主任・上野さん・片岡さんのバラエティー豊かなおかず、厨房のみそ汁、公園売店のおでん等々。

普段、お箸は使えないと言われてた方達も普通に、極々普通にお箸を使い食されておりました！なので・・・はい！そうです！普段の食事の時もお箸使用して頂いております！凄いピクニックマジックです！

入居者さんも職員も時が経つにつれ少しずつ顔ぶれは変わりはしますが、一緒に過ごせる時間を大切に信頼関係を深めていけたら良いと思います！

最後にこの場をお借りして・・・ボランティアグループ「園」の皆さん！今年も大変有り難うございました！送迎時の職員並みのあの機敏な動きは大変素晴らしかったです！本当に有り難うございました！どうかこれからも宜しくお願い申し上げます！

あっ！最後の最後に山崎主任が道に迷い競馬場の方に行った事は内緒でお願いします！方向音痴は遺伝だそうです！

特養 2階 山根 靖恵



5月18日（月）3階入居者とボランティアグループ「園」、職員にて農業公園にピクニックに行ってきました。いつも3階のイベントの日には雨が多く、今回も数日前から雨の予報でヒヤヒヤでした。

当日は快晴で、バタバタでお弁当作り。1人1人にランチパックを作り、サンドイッチお膳の人たちもいたり、詰めている途中でおかずを入れる場所に文句を言う職員もいたり、わちゃわちゃしながら楽しんで作ることが出来ました。

公園に着き、バラをみて散歩したり、お弁当は「おいしーい♪」と言ってもらいたくさん食べて頂きました。

全員で集合写真を撮り、ボランティアグループ「園」さんと何曲も一緒に歌い、入居者さんも楽しまれ大きなイベントだったなと感じてもらえたように思います。

何よりの一番は、入居者さんの楽しそうな笑顔が見られて幸せでした。

特養 3階 山田 理恵

特養3階ピクニック
2015.5 農業公園



今回は私が就職してから初のピクニックに行ってきました。

お花を見ながら入居者の皆さんとお食事をするのは楽しかったです。外に出ると皆さん楽しそうでいつもと違う雰囲気でした。女性の入居者さんは、花に触れたり、花の近くに行き匂いを嗅いでいました。色々な花がありとても綺麗でした。

外の空気に触れることと環境が変わることで入居者さんのいつもは見られない様子が見られて良い経験になりました。

特養 3階 長谷川 ちひろ

今年も行ってまいりました！ ～デイ・特養合同 甲子園観戦～



5月26日(火)、特養とデイサービス合同で阪神対楽天の観戦へ甲子園に行ってきました。特養入居者の中川さんは、園田苑でもいつも阪神の試合をテレビで見られておられ、いつかお連れしたいと思っていました。車に乗り込む時点から深津ワーカーにユニフォームを着せられながらもとてもうれしそうでした。(今でもその時にもらった兜を皆が集まるフロアのテーブルの引出に、大切に保管しておられます。) デイの利用者の皆さんもそれぞれユニフォームとバットを持って車内から応援していたそうです。

今年も、ここ数年は負け知らずの施設長に参加して頂き、終始阪神がリードする形で試合は運びました。阪神の投手、岩田選手が完封し、デイの杉山さんは周りのお兄ちゃんに

「おばちゃんが大きい声でどやしてくれたからや！」と握手を求められていました。皆さんがこの日をいかに楽しみにしてくれていたのか、いかに楽しんでくださったかは伝えきれません。来年は皆さん一緒にいかがですか？(特養 家門 孝光)



30cmの津波でも… 園田苑内防災研修

5月25日(月)、園田苑1階デイルームにて、園田苑内の各セクションが集まり、防災委員による防災研修が行われました。

地震発生・緊急地震速報発生時、揺れが収まってから、火災が発生したら、下敷きになったらと様々な状況を想定し、穴埋め問題を皆必死に解きました。

尼崎市なら震度5・6の地震なら90分～120分で津波が到達すると言われています。その間に自分達が何をしなければいけないのかを考えるいい機会にもなりました。また、津波はたった30cmでも人を倒し流してしまうとのこと。水ではなく、壁が迫ってくると考えることを学びました。

(併設通所介護 村越 拓馬)



社会と関わることの大切さ できることは自分でする大切さ デイサービス家族会懇談会

5月28日(木)、支援センター2階にて、デイサービス家族会懇談会を行い、認知症について皆で学びました。自分達が認知症についてどれくらい知っているかをクイズ形式で行いましたが、自分が年をとって認知症になったら、また、今介護しているお母さんや御主人の事を頭に浮かべながら、うんうんと頷いて聞いてくださっていました。

後半は自分達の今している介護について語り合いました。皆さん御苦労されながら、当事者の事をとても大切に考えられていることが感じられました。数か月に1回のこの懇談会、もっと多くの方にも体験して頂きたいと思いました。

(併設通所介護 生活相談員 深津 智子)



園田苑と20年 毎日笑顔にさせてもらった ～特養 宜保さん逝く～

宜保美知子さんが5月19日に93年間の人生の幕を閉じられた。

入居して17年。デイサービスを利用されていた時代も合わせると20年近く園田苑が関わらせていただいた。10年前に亡くなられたご主人も、一緒に入所されていた方だった。

私が入職して6年。宜保さんに助けられたことで頑張ってもらったと言っても過言ではないと思う。えこひいきになるかもしれませんが、私にとってとても大切な方だった。



5月に入った頃、お腹を下される事が増えてきていた。初めは腹痛の訴えもなく、お元気だったが

徐々に食事が低下していった。亡くなる10日程前、食事を目の前にするととても苦痛な顔をされていた。食事の形態を落としてみたが食されなかった。水分も大好きだったコーヒーや牛乳は飲まれなくなり、飲みやすいポカリスエットを希望するようになってきていた。体調が悪くだけでは無いと誰もが思っていたが、信じたくない、元気になってほしいと思う自分がいた。しかし、大切だからこそ苦しまずに最期を迎えてほしいと強く思った。食事の形態を普通食に戻し、食べられる時に無理に勧めず、食べたい量だけ。食べられる形状に職員で調理をするようにしたが亡くなる3日前にはほぼ食事を口にできなくなった。

本当はしんどかったと思うけど、宜保さんは最後まで私達の前では気丈で優しい方だった。「しんどくないですか。」と聞くと「大丈夫、それより家は遠いの？気を付けて帰り。」と言って下さった。お嫁さんが来られた時も「はよ帰れ、迷惑掛けるから。」としきりに言われていた。本当に優しく、自分の弱い所を見せない方だった。けれどずっと一緒にいたからこそ、しんどい時はすぐに分かった。

亡くなる前日、ご家族が泊まれた。しんどかったかもしれないが、宜保さんの表情はとても良かった。大切な息子さんお嫁さんが傍にいて下さり本当に嬉しかったんだと思う。

19日、出勤し声を掛けた。声を出すことは出来なかったが顔を見て下さり手を伸ばそうとしてくれていた。10時20分、息子さん・お嫁さんに見守られながら息を引き取られた。1番たくさん職員がいる時間に亡くなられた。宜保さんらしいなと思った。



「山崎はどこ。」と探していると言われ声を掛けにいくと「誰？向こういけ。」と言われた。「あほ、来るな。」と言われた日もあった。とても寂しがりだけど強がりな方だったと思う。時には「山崎さん、いたの。」「頑張ってるね。」「結婚はまだ？」と気にかけてくれた。「パンはないの。」と言われ、アンパンやクリームパンをお出しすると、外身だけ食べ中身のみを下さる優しい楽しい方だった。宜保さんとのやり取りで毎日笑顔になれた。亡くなってからあそこに行けば良かったなどと後悔もあるけど、焼きそばを食べに行ったり、日向ぼっこをしたりと楽しかった思い出がよみがえる。

今でも居室の前を通ると、「息子が3人いてね、優しい息子ばかり。」「私のお嫁さんはね、ブラウスをいつも買ってくれるの。女の子はいないけど全然寂しくない。」とお話が聞こえてきそうな気がする。

思い出すと寂しい気持ちが大きいけど、いつか新しい職員が入ってきた時に、『宜保さんっていうこんな方がいてね』と、とても優しく私に教えて下さったことを、笑いながら話が出来たらと思う。

「宜保さん、93年間お疲れ様でした。ありがとうございました。本当に出会えて良かった。」

特養主任

山崎 優花



聖愛療養院64周年 ～記念式典に参加してきました～

4月23日～26日 聖愛療養院64周年式典へ出席する為、韓国に研修へ行きました。

1日目リムジンバスで関西空港へ向かいました。

韓国へ到着すると、通訳の方が待っていてくださり、南大門市場へ。とても賑やかなところでバイクが通ることに驚きました。

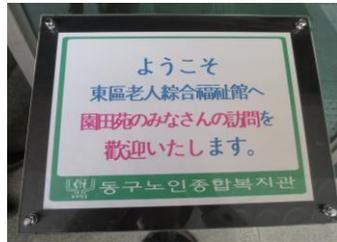
それから聖愛療養院のある大田（テジョン）市へ移動しました。夕食時には聖愛療養院の理事長をはじめ、昨年10月に園田苑に来られ、USJをご案内した時にお会いした方も来てくださいました。とても緊張しましたが食事もおいしく楽しい時間を過ごさせていただきました。



2日目は式典へ参加しました。藤中さんに借りたチョゴリを着ました。皆様、喜んでいただけてうれしかったです。舞台を見ると **歓迎 園田苑家族** と漢字で書いて貼ってありました。役員の挨拶が終わり、私たちの挨拶がありました。2人で文章を考え、練習もしていましたが、舞台へ上がると頭が真っ白になるくらい緊張をしていました。無事に終わり拍手もいただけて、やっと一安心が出来ました。後半は民族舞踊などの出し物があり、どれも素晴らしく楽しませていただきました。



午後からは聖愛療養院を見学させていただきました。聖愛療養院は大田市で初めてできた施設で、個人で建設されたそうです。後から国の援助があったそうですが、設立された方は立派だと思いました。7～8人ほどのユニットケアをされていました。昔、日本の会社で働いていた入居者が日本語で挨拶をして下さり、私たちの韓国語での挨拶にも返事をして迎えて下さり嬉しかったです。



その後は東区福祉会館へ見学しました。韓国も高齢化が進んでおり、職員が電話か訪問をして安否確認や状態を見ているそうです。福祉会館はたくさんのクラブや教室があり、利用者は好きな時に利用できるようになっていて、見学させて頂くと皆さん熱心に取り組まれていました。地域にこのような会館があればいいなと思いました。

3日目は全州（チョンジュ）に案内していただきました。土曜日という事も多く賑わっていました。博物館ではお寺に案内してもらいました。説明文がハングルで読めなかったのが残念でしたが、絵で説明しているところもありました。



お昼はビビンバで有名なお店へ行きました。大統領も来たことがあるそうです。そのようなお店に行けて貴重な体験ができました。

4日目はホテルから直接空港へ送っていただきました。これまでの疲れも感じていましたが、日本に到着すると安心しました。住み慣れたところが一番だと思いました。

初めての海外で戸惑いや不安もありました。園田苑を代表して行く事の緊張でどうなるのだろうと楽しみより不安が強かったです。しかし、皆さんが笑顔で迎えて下さってとても心強かったです。4日間、職員や通訳の方たちのおかげでとても良い貴重な経験になりました。ありがとうございました。

ホームヘルプ 岡田 美幸

命をつなぐ 万年青会（善法寺）での応急手当



5月25日（月）午後2:30～、応急手当の講習会の講師として参加しました。善法寺公園の中にある善法寺会館には総勢20名が参加、園田苑からも、小規模の職員秀石さん、乗富さんが手伝ってくれました。

実際に救急車を要請した事があるかどうか？お尋ねすると、1/3ほどの方の手が挙がります。決して遠い存在ではないようですが、AED（自動体外式除細動器）については、ほとんどの方が初めて見るようで、「何それ」？でした。

尼崎市には救急車は8台しか！ないこと、けがをして倒れている人を見つけたら、まず声をかけて、救急車を要請してほしいこと。ただ救急車が到着するには8分（全国平均）かかるので、その間に「命をつなげるために」心臓マッサージ（胸骨圧迫）や人工呼吸、そしてAEDを使用して到着を待つて欲しいことなどをお願いしました。



お知らせ

介護者教室 7月25日（土）
命をつなぐAEDの使用手法や救急救命について学んでみませんか？（上記記事を参照して下さい）午後2時～4時園田苑2階食堂にて。3時30分からは茶話会を予定しています。ご参加くださる方はお電話をお願いいたします。06-6493-3731

（園田苑三浦まで）

いざ人形を使いどんな物なのか、お二人の方に体験して頂きましたが、お年寄りて膝や腰が悪い方が多く、ほとんどの方が床に膝立ちすることが難しい。床に寝かせた人形の胸骨圧迫は、正しい姿勢と力とタイミングも難しく、男性の方も苦勞されていました。「私がしてもらわなアカン立場や！」と言われる方もいて、確かに、自分自身では難しくてもその場に居合わせた他の人に、「こうするんやで」とか「AEDは園田苑にあるで！」とか言って下さることが救命救急の大きな一歩になります。

見知らぬ人の命はもちろん、近くの友人や家族のためにも、AEDの機械を知り、置いてある場所を覚えて頂き、救急車が到着するまでの間、救命処置やAEDを使い、命をつないで頂きたいと思いました。

ホームヘルプ 物部 幸代（応急手当普及員）

5月の風吹く苑庭で ～センターデイ青空ランチ～



新緑のさわやかな風が吹く5月20日。園田苑のロタリーにて、認知症対応型デイサービスの利用者様10名と一緒に昼食を楽しみました。今日は、彩り鮮やかでボリューム満点の厨房特製の手作り弁当。青空の下でのお食事は、いつも以上に箸がすすみ、皆さん大満足のご様子です。

食後には、東園田のボランティアグループ「絆」さんによる踊りの披露があり、参加者の皆さんからは拍手喝采！とても楽しいひと時を過ごさせて頂きました。ボランティアの皆様、いつも本当にありがとうございます。

認知症対応型通所介護 生活相談員 関口 義信

編集後記

ジメジメの季節がやってきました。今年も、除湿機を投入したので部屋干しで乾きにくい季節も乗り切れるはず！
（きりん）

他人の事を心配ばかりしていませんで、自分のことを大事にしないで。超えないといけないのは他人ではなく自分自身。
（きんたろう）

介入する足し算と引き算。常にこれでいいのかと自問自答。こうして成長するのでしょうか。
（酒浴女）

こぶし園の小山剛さんが亡くなった。

言葉を交わしたことはなかったが、この人の福祉観を本当に尊敬して已まなかった。

小山さんがスタッフにあてて残した言葉がある。

「慣れてもよいが、押れてはいけない」

「そのくらい自分で考えなさい」

この言葉を園田苑の職員にも・・・

（野の花）